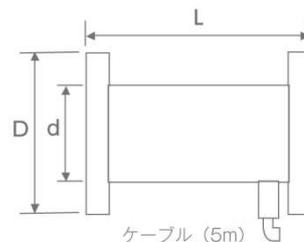


マグハンマ

■ 本体仕様

型 式	構 造	衝 撃 力		寸 法			重 量 kg	入力電流(A) AC220V
		kg・m/sec	ハンマー	D	d	L		
SIC-05A型	完全密閉型 (間接打撃式)	1.8	1ポンド	130	76	226	7	1.3
SIC-1A型		3.8	2ポンド	165	102	284	13	1.8
SIC-2A型		8.2	4ポンド	190	114	318	22	3.4
SIC-3A型		21.3	10ポンド	255	165	384	52	3.9
SIC-05AS型	完全密閉型 (間接打撃防音式)	1.3	0.7ポンド	130	76	226	7	1.3
SIC-1AS型		2.7	1.5ポンド	165	102	284	13	1.8
SIC-2AS型		5.7	3ポンド	190	114	318	22	3.4
SIC-3AS型		14.9	7ポンド	255	165	384	52	3.9



- 備考：1) 高温仕様（周囲温度 100℃）も別注にて製作いたします。
 2) 耐蝕仕様（オール SUS 製）も別注にて製作いたします。
 3) 直接打撃型（ピストン突出）も別注にて製作いたします。
 4) 耐圧防爆形（Exd II BT4）も別注にて製作いたします。

- 5) CE マーク対応品も製作いたします。
 6) 取付用ベースプレート、ボルト、ナット類を 1 式付属いたします。
 7) マグハンマ本体と制御盤間のケーブルは 5m を本体へ接続済です。

■ 制御盤仕様

型 式	本体使用台数	構 造	電 源	動 作	衝撃力可変範囲
SB-1A	05A 型 × 3 台 1A 型 × 2 台 2A 型 × 1 台 3A 型 × 1 台	屋内防塵 ケース付	3φAC200/220V 50/60Hz 3相	自動操作及び連動動作 打撃回数1回~10回可変 休止時間30秒~10分可変	50~100%
SB-2A	05A 型 × 6 台 1A 型 × 4 台 2A 型 × 2 台 3A 型 × 2 台			外部信号動作 打撃間隔1回/1秒	
SN-1A	05A 型 × 3 台 1A 型 × 2 台 2A 型 × 1 台 3A 型 × 1 台	制御ユニット ケースなし		外部信号動作 打撃間隔1回/1秒 打撃回数1回~10回可変 休止時間30秒~10分可変	
SN-2A	05A 型 × 6 台 1A 型 × 4 台 2A 型 × 2 台 3A 型 × 2 台				
SB-1A	05A 型 × 3 台 1A 型 × 2 台 2A 型 × 1 台 3A 型 × 1 台				
SB-2A	05A 型 × 6 台 1A 型 × 4 台 2A 型 × 2 台 3A 型 × 2 台				
SN-1AM	05A 型 × 3 台 1A 型 × 2 台 2A 型 × 1 台 3A 型 × 1 台				
SN-2AM	05A 型 × 6 台 1A 型 × 4 台 2A 型 × 2 台 3A 型 × 2 台				

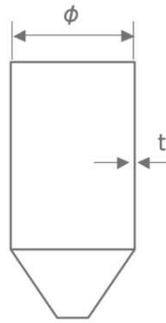
備考：1) 屋外防水防塵構造の制御盤もあります。

2) 異電圧(トランス内蔵型)仕様の制御盤も製作いたします。

3) マグハンマ多数制御の集中制御盤も製作いたします。

■ マグハンマの選び方

ホッパー等の形状・寸法及び製品の詰まり具合、その他、粉体の特性・状態・水分等によっても異なりますが、マグハンマ選定のおおよその目安として右の表の様に型式及び台数をお勧めいたします。選定の基準としては、ホッパーの板厚(t)でマグハンマの型式を選定し、ホッパーの大きさ(φ)でマグハンマの台数を決定いたします。マグハンマは衝撃力の調節ができますので、大きい方の機種を選定して頂ければ万全かと存じます。



● 型式×台数

φmm	tmm	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以上~
0.5		05A型×1台		1A型×1台			2A型×1台			3A型×1台	
0.8											
1											
1.5		05A型×2台		1A型×2台			2A型×2台			3A型×2台	
2											
2.5											
3		05A型×3台		1A型×3台			2A型×3台			3A型×3台	
3.5											
4											
5		05A型×4台		1A型×4台			2A型×4台			3A型×4台	
6											

● 目詰り付着



ブリッジ



アーチング



付着

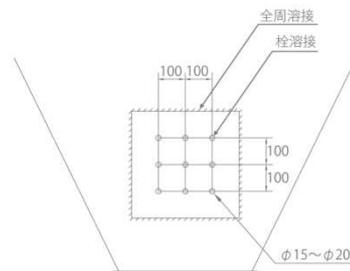


ラットホール

取付方法および取付位置

- (1) ホッパー板厚がうすい場合、補強板を溶接します。(「補強板の溶接方法」参照)
- (2) ホッパー壁面又はその補強板にベースプレートを栓溶接と全周溶接します。
- (3) ベースプレートと本体を付属のボルトナットで固定します。
- (4) マグハンマ本体を高所へ取付ける場合、必ず付属のシャックルにワイヤーあるいはチェーンを落下防止用に吊り、固定します。

補強板の溶接方法

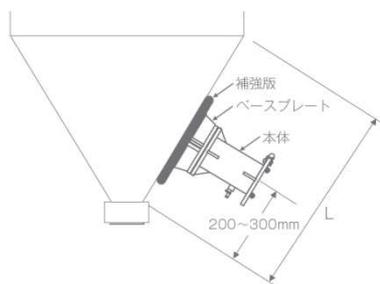


補強板に10cm間隔ごとに直径2cm位の穴をあけ、ホッパーと栓溶接し、その後周囲を全周溶接します。

補強板寸法

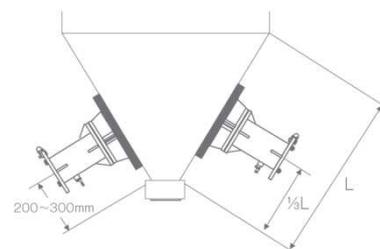
型 式	板厚	補強板寸法
SIC-05A型	3.2t	□250、φ250
SIC- 1A型	4.5t	□300、φ300
SIC- 2A型	6t	□350、φ350
SIC- 3A型	9t	□450、φ450

通常の場合



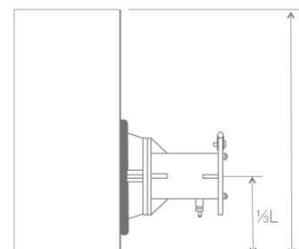
通常、ホッパー部板長さ(L)出口から200~300mmの所に、取付けます。また既設ホッパーに取付ける場合ハンマーでホッパーを叩き、一番効果のある箇所が取付位置です。

流動性の悪い場合



流動性の悪い原料の場合はマグハンマを2台使用し左右の取付高さを図示のように変えることにより、流動性が良くなります。

壁面付着の場合



シート、輸送配管及び垂直面に付着する場合は垂直面長さ(L)の1/3Lに取付けます。